

御嵩町価値明確化プロジェクト：町民アンケート調査結果概要報告書

本報告書は、御嵩町の「価値明確化プロジェクト」の一環として令和7年度に実施された町民アンケートの結果を分析し、集約したものである。

調査の結果、御嵩町は「豊かな自然と深い歴史」、そして「人の温かさに基づく子育て環境」という強力な資産を有していることが明確になった。特に、中山道や願興寺を中心とした歴史資源、みたけの森や南山公園に代表される自然景観は、多くの町民にとっての誇りであり、心の安らぎとなっている。

一方で、公共施設の老朽化と衛生面の問題（特にB&Gプール）、公共交通機関（名鉄広見線・ふれあいバス）の維持・拡充への不安、若者向けの娯楽施設や飲食店の不足といった課題も浮き彫りになった。

今後の町政に対しては、新町長のリーダーシップや新庁舎建設、リニア中央新幹線開業といった変化を背景に「期待」を寄せる声が多い。しかし、その期待を維持するためには、単なるイベントの開催に留まらず、町民の声を反映した迅速な実行力、デジタル化による利便性向上、そして持続可能な経済政策の確立が不可欠である。

1. 御嵩町の資産と強み（GOOD：いいところ・印象深いエピソード）

町民が実感している御嵩町の魅力は、大きく「自然・景観」「歴史・文化」「人間関係・子育て環境」の3点に集約される。

1.1 豊かな自然とノスタルジックな景観

多くの回答者が、山々に囲まれた田園地帯や、日常の中に溶け込む自然を高く評価している。

- **主要なスポット**：みたけの森（ササユリ、湿原）、南山公園（桜）、みたけ富士、可児川の遊歩道。
- **印象的な景観**：南山公園から望む赤銅色の夕焼け。ある町民は「子供の頃の優しい記憶を思い出させる、荘厳な絵画のよう」と表現している。
- **希少な動植物**：上之郷の蛍、カモシカ、イノシシ、アカハライモリなど、豊かな生態系が残っている。

1.2 深い歴史と継承される文化

中山道の宿場町としての歴史は、町のアイデンティティの核となっている。

- **歴史的資源**：中山道（国史跡指定区間）、願興寺（重要文化財の仏像群）、御嵩城跡、鬼の首塚。
- **伝統行事**：薬師祭礼、伏見宿の雛祭り、町民運動会（伏見地区など）。
- **成功したプロジェクト**：流しそうめんのギネス記録挑戦。行政と住民が「本気」で取り組んだ象徴的な出来事として記憶されている。

1.3 人の温かさと子育てのしやすさ

「ちょうどいい規模感」が、住民同士の適度な距離感と助け合いを生んでいる。

- **子育て支援**：乳幼児学級（ぽっぽかん等）でのママ友作り、保育園での町一体となった教育。

- **住民性:** 全然知らない人でも自然に声をかけてくれる、困っている時に助けてくれるといった「あたたかさ」が、移住者や子育て世代の安心感に繋がっている。
- **行政サービス:** 住民票の書き換えが迅速（他市町との比較で大幅に早いとの声あり）、役場職員の親切な対応。

2. 課題と改善の方向性（MORE：改善点・期待すること）

現状への不満や将来への不安として、インフラ整備と経済活性化、情報発信のあり方が問われている。

2.1 公共施設・設備の改善

特に子供たちが利用する施設の衛生面と老朽化が深刻な懸念材料となっている。

- **B&G プール:** 「臭くて汚すぎる」「安心して子供を連れて行けない」という極めて厳しい指摘が複数寄せられている。
- **遊び場の不足:** 小さな子供が安全に遊べる公園、室内施設（児童館の充実）、学生が勉強できるワークスペースの要望が強い。
- **駅周辺:** 御嵩駅前の景観維持（猫の餌やり問題の解決）、夜間の学習スペース確保。

2.2 交通インフラの維持と拡充

「車がないと生活できない」現状への不安と、公共交通への依存度が示された。

- **名鉄広見線:** 存続を願う声と、名古屋直通電車の復活を望む声。
- **バス・タクシー:** 土日祝日のコミュニケーションバス運行、ふれあいバスの増便、デマンドタクシーの利便性向上。
- **道路整備:** 通学路の安全確保（歩道橋、信号の設置）、バイパス周辺の発展。

2.3 商業・経済の活性化

町内での消費機会が少ないことへの不満が目立つ。

- **飲食店の不足:** ラーメン店、チェーン店、夜まで営業している店舗の要望。
- **特産品の活用:** 「みたけとんちゃん」等が食べられる店舗を増やし、地元店舗とのコラボを強化すべきとの意見がある。
- **経済政策:** 「他所からのお金に踊らされず、自らがお金を生む独自の経済政策が必要」という鋭い指摘も。

2.4 情報発信とデジタル化

情報が届いていない、または利便性が低いという認識がある。

- **広報のデジタル化:** 公式 LINE の活用、コンビニでの住民票発行、オンラインでの帳票出力。
- **周知の徹底:** 町のイベントや魅力が町民自身に知られていない。「内側への魅力発信」が重要。

3. 町政への期待度とその理由

10年後の御嵩町に対する期待度は「やや期待できる」から「どちらでもない」まで分かれているが、変化の兆しを感じている層は多い。

期待度	主な理由
期待できる	新町長への交代、新庁舎建設、リニア開業、若手職員の活気、歴史資源の活用。
期待できない	少子高齢化、名鉄廃線の懸念、財政不安（新庁舎への多額投資）、過去の計画の未実行。

期待度を上げるためのキーワード

- ・ 「実行力」： アンケートを取るだけでなく、具体的な行動に移すこと。
- ・ 「若者の視点」： 若い世代のやる気を尊重し、年配世代がそれを見守る勇気を持つこと。
- ・ 「選択と集中」： 小規模なイベントを乱立させるのではなく、観光資源として一点集中させた大きなイベントを打ち出す。

4. 町民からの提言（まとめ）

アンケートの最後には、町を愛するがゆえの切実な応援コメントが多数寄せられた。

- ・ 「価値の再発見」： 住民自身が御嵩町の良さを再認識し、自信を持って町外へ語れるようになること。
- ・ 「誰一人取り残さない」： 障害者や高齢者が災害時も安心して過ごせる、あるいは移動できる体制の構築。
- ・ 「挑戦する姿勢」： 「井の中の蛙」にならず、新しいことに果敢にチャレンジし、御嵩町オリジナルの特色を作っていくこと。

「あなたにとって御嵩町とは？」

- ・ 「ここで生きて死ぬつもり」の町
- ・ 「ちょうどいい田舎」
- ・ 「のびしろの町」
- ・ 「私のふるさと」
- ・ 「家族」

本調査で得られた町民の「生の声」は、単なるデータの集積ではなく、これからの御嵩町を創り上げるための貴重な指針である。